川口市病児保育予約システム仕様書

1 目的

川口市（以下、「本市」という。）の委託先である病児・病後児保育施設（以下、「病児保育室」という。）の利用者のスマートフォン又はパソコン等の端末から、WEB上で登録、予約及びキャンセルを行うためのシステムを利用することにより、登録、予約及びキャンセルを行う際の利用者の利便性の向上と病児保育室の職員の業務負担軽減を図ることを目的とする。

なお、本市では病児保育室予約のためのシステムを運用中であるが、この公募により、病児保育事業実施要綱（令和6年3月30日こ成保第180号こども家庭庁成育局長通知）に規定する当日キャンセル対応に対応し、子ども・子育て支援交付金交付要綱（令和5年9月7日こ成事第481号こども家庭庁長官通知）の規定により病児保育事業に対して交付される当日キャンセル対応加算の交付要件に対応したシステムを導入する。

2 件名 川口市病児保育予約システム利用契約

3 履行場所 川口市内病児保育室他

対象となる病児保育室は以下のとおり。

施設名	住所	定員
病児保育室バンビ	川口市芝中田 1-30-8	5名
病児保育室ユーカリ	川口市東領家 3-7-12	5名
病児保育室 Sunny	川口市戸塚南 1-1-23 ガーデンソフ 1B	6名
病児保育室 Sunny 川口駅前	川口市栄町 3-13-1 樹モールプラザ 3階	6名

4 契約期間 契約締結日～令和10年3月31日

病児保育予約システムの運用期間は令和7年10月1日からとし、それまでの期間は導入・初期設定期間とする。ただし、地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約であるため、この契約にかかる予算の減額又は削除があった場合は、発注者は契約日からこの期間の途中において当該契約を変更または解除することができるものとする。

5 システム概要

以下の内容を満たすシステムを導入・運用を行うこと。

- (1) 病児保育室利用者（以下「利用者」という。）の利便性・操作性などを考慮した、容易に操作できるシステムであること。
- (2) 病児保育室職員の業務負担軽減に役立つシステムであること。
- (3) 病児・病後児保育制度の改正等に対応できる拡張性の高いシステムであること。
- (4) 契約期間における運用期間中、安定した利用が可能であること。

6 業務の範囲

- (1) クラウド環境で利用できるシステムの提供
- (2) 各種操作マニュアルの提供
- (3) システムの導入作業（初期設定）

- (4) 操作研修会の実施
- (5) 運用及び保守の実施
- (6) その他、病児・病後児保育予約システム導入及び運用保守に関する業務

7 業務内容

(1) システム要件

- ア システムはインターネットを介して提供されるものとする。
- イ 川口市情報セキュリティポリシー等に基づき、登録、予約等に係るすべての操作はLINEを使用せずに利用可能なシステムであること。利用者への連絡は電子メールを使用するシステムであること。
- ウ 子ども・子育て支援交付金交付要綱（令和5年9月7日こ成事第481号こども家庭庁長官通知）の規定により病児保育事業に対して交付される当日キャンセル対応加算の交付要件に対応したシステムを導入すること。

《参考》

病児保育事業実施要綱（令和6年3月30日こ成保第180号こども家庭庁成育局長通知）

6 実施要件（6）当日キャンセル対応

① 内容

利用者による当日キャンセルの結果、職員配置に余剰が生じた場合（利用予定児童4名に対して2名の保育士を配置していたが、1名の当日キャンセルにより保育士が1名余剰となる場合等。）に、当日キャンセルした家庭へ状況確認のための連絡等を行う。なお、当日キャンセルのあった日時、当日キャンセルした者の氏名、当日の職員の配置状況、当日キャンセルのあった家庭への連絡等の対応状況について、別途帳簿等で管理し、補助金等の額の確定の日の属する年度の終了後5年間保存すること。

エ システムは以下の要件を満たしていること。

システム要件	
1-1	クラウドサービスで提供すること。（発注者側にサーバ機器の設置を要しないこと。）
1-2	利用者、病児保育室及び本市がインターネットを通じてシステムを利用できること。不正アクセス防止のためのID及びパスワード管理によるアクセス制御を実装すること。
1-3	利用するデータセンターは国内のデータセンターとし、日本の裁判管轄、法令が適用されること。利用者のデータが海外に保存されないこと。
1-4	病児保育室及び本市が利用するシステムはWebアプリケーションとし、利用端末に特別なソフトウェアを導入することなく利用できること。
1-5	個人情報とは運用時の利用端末に保持しないこと。ただし、病児保育室職員及び本市職員の操作によってダウンロードされたデータは除く。
1-6	24時間365日サービス提供が可能で、稼働率99%以上を確保していること（システムメンテナンス等による計画的な停止は除く）。システムメンテナンス等のために運用停止が必要な場合は、遅くとも1か月前までに本市に連絡の上、利用者への影響の少ない時間帯に実施すること。
1-7	定期的にバージョンアップ（機能改善、バグ対応等）を図るASPサービスが行われており、常に最新のシステムが利用できること。一般的に行われるASPサービスについては、追加の費用なく提供すること。
1-8	インターネット通信については、SSL通信を用いる等、暗号化等のセキュリティ機能を確保すること。
1-9	データのバックアップを定期的に自動で行うことに対応したシステムであること。
1-10	システム提供用に使用するクラウドサービスの情報セキュリティ対策は、「クラウドサービス提供における情報セキュリティ対策ガイドライン」（令和3年9月総務省）に準拠すること。

機能要件	
基本機能	
2-1	パソコンでもスマートフォンでも入力可能であること。
2-2	基本操作及び画面のイメージが統一され、操作が容易になっていること。
2-3	入力必須項目と入力任意項目が区別できること。
2-4	入力エラーとなった場合は、エラーメッセージが表示されること。
2-5	登録及び予約時のデータ（以下、「予約データ」という。）他、原則としてすべての入力されたデータを主に CSV 形式で出力することで、病児保育室及び本市がデータを加工して資料を作成できること。
2-6	予約データ抽出のため、抽出するテーブル及び項目を任意に設定、選択できること。
2-7	予約データ抽出設定を保存し、再利用可能なこと。
2-8	保存した予約データ抽出設定を変更し、別の条件等でデータ抽出できること。
2-9	予約データを出力する場合には、期間を指定できること。
2-10	登録者を氏名や読み仮名で容易に検索ができること。
2-11	以下の OS 及びウェブブラウザで利用できること。 OS : Microsoft Windows10 以上、 MacOS 最新版、 iOS 最新版、 Android サポート対象以上 ウェブブラウザ : Google Chrome、 Safari、 Microsoft Edge の各最新版
利用者情報登録機能	
3-1	利用前にシステムで利用者登録を必要とすること。 利用者の住所、氏名、連絡先電話番号、メールアドレス、利用児童との続柄が登録できること。登録した事項について、利用者が修正、更新ができること。
3-2	利用者が情報を入力するにあたって、個人情報の取扱いにかかる同意文書及び同意の旨を入力するためのチェックボックス等を表示すること。
3-3	利用者が利用児童の基礎的情報（氏名、読み仮名、性別、生年月日）の入力及び登録ができること。利用者のアカウント（1 アカウント）に対し複数の利用児童が登録できること。
3-4	利用者が利用児童の基礎的情報（氏名、読み仮名、性別、生年月日）の入力更新ができること。
3-5	システム入力環境がない場合、紙で提出されたものを病児保育室の職員が入力することにより登録できること。
施設空き状況の確認、施設予約・キャンセル機能	
4-1	利用者は 24 時間予約入力ができること。
4-2	利用者の予約入力後、病児保育室職員により予約が確定すること。病児保育室側の判断により、自動での予約確定も可能なように設定できること。
4-3	予約確定後、病児保育室の空き状況の更新を行うこと。
4-4	予約確定やキャンセル待ちなどステータス変更時に、利用者に自動メッセージを送信すること。
4-5	前日の夜又は当日の朝等に、利用者にリマインドのメッセージを自動送信すること。
4-6	予約時に利用者が、病状や診断名を入力し、病児保育室側に情報提供できること。病児保育室独自の質問項目が設定できること。
4-7	利用者は予約キャンセル入力ができること。入力時に当日キャンセル加算対応に対応した項目が入力できるようにすること。

4-8	キャンセル可能な時間帯を設定できること。
4-9	利用者の予約キャンセル入力を受けて、病児保育室の空き状況の更新を行うこと。
4-10	利用者が、各病児保育室の空き状況の検索を行うことができること。
管理者（病児保育室及び本市職員）管理機能	
5-1	利用者がリスト化され、当日の予約状況を確認できること。
5-2	インターネットが使用できない利用者の予約も、同じシステム内で入力・管理できること。
5-3	利用者の利用履歴が閲覧できること。
5-5	予約確定及びキャンセルのデータが CSV 形式で出力できること。
5-6	登録者（利用者）に対し一斉メールが送信できること。
5-7	当日キャンセル加算対応に対応した帳票が出力できること。

(2) システム運用

- ア システムの運用方法、操作方法及びシステム機能に関する本市職員及び病児保育室職員からの問い合わせに対し、電話及びメールなどで受け付け、回答すること。
- イ 各種問い合わせの他、システムの不具合や障害発生に関する窓口を常設し、本市職員及び本市の委託先である病児保育室職員からの問い合わせに対応すること。また、緊急時においては、常時電話連絡ができる体制を構築すること。
- ウ システムに障害が発生した場合、本市職員及び病児保育室職員からの問い合わせに対して、障害の原因についての切り分け作業を行うこと。また、切り分けた原因に応じて、必要な保守作業を実施すること。
- エ システムに障害が発生したことを把握した場合は、速やかに本市及び病児保育室に連絡すること。
- オ 障害復旧に向けた対応策を検討し、実施すること。なお、障害発生時の連絡体制及び対応フロー等を作成し、受注後速やかに発注者に提出すること。
- カ 障害復旧後、障害発生の原因を究明し、再発防止策を検討し、必要な防止策を実施すること。
- キ 障害の重要度又は緊急度が高く、利用者の予約に支障をきたすと判断した場合は、夜間、休日等を問わずに迅速に対応を行うこと。
- ク 障害の発生を把握した時点や障害対応を開始した時点など、適切な連絡手段にて随時報告すること。
- ケ システムのプログラム欠陥などに起因する障害が発生した場合、その復旧作業を行うこと。また、当該プログラム欠陥等がシステムなどに影響を与えないよう、必要な修正を行うこと。
- コ システムの運用において、バックアップ情報からシステムの復旧が必要となった場合、迅速に復旧作業を行うとともに、復旧したことを確認すること。
- サ システム障害の解消及び復旧に係る作業を行った際は速やかに発注者に報告を行うこと。
- シ アクセス状況及び不正アクセスを監視する等により、サイバー攻撃及び情報漏洩、改ざん防止対策並びにセキュリティホール対策を適切に講じること。
- ス アクセスログを保存し、必要に応じ発注者である本市職員の求めに応じて、アクセスログを開示、提供すること。また、不正アクセスが発生した場合には速やかに発注者に報告し、必要に応じアクセスログの開示、提供をすること。
- セ システムと利用者及び病児保育室間の通信は暗号化を用いて情報漏洩対策が実施されていること。
- ソ システムの脆弱性診断を定期的実施すること。
- タ 利用端末の OS やブラウザ等のバージョンアップに随時対応し、システムが利用可能な状態を維持すること。

チ 国の関係法令等に従いシステムのメンテナンスを行うこと。

ツ 発注者及び病児保育室職員との対応は日本語で行うこと。

(3) システムの導入

ア システムの利用に必要な準備（初期設定等）を行うこと。

イ 運用テストを実施し、発見された不具合を修正すること。

ウ 病児保育室職員及び本市職員向けの操作研修等を実施すること。

エ 操作に関するマニュアルを作成し提供すること。マニュアルは、できる限り専門用語を使わず、ICT知識の乏しい者にも理解しやすい記述とし、実際の画面キャプチャ等を用いてわかりやすく説明すること。機能の修正などがあつた場合には、該当部分を更新したマニュアルを速やかに作成し、電子データを提供すること。

オ その他、利用開始に必要な作業を実施すること。

カ 利用者の登録方法や予約画面の操作方法を本市市民に対し広報するための資料を提供すること。

8 実施体制

業務遂行にあたっては、実施体制を明示するとともに、業務責任者を配置すること。また、契約締結後、速やかに業務実施計画書を作成し、提出すること。

導入期間中は、発注者との連絡・調整を密に行い、別途協議が必要と判断された場合は、協議により随時打ち合わせの場を設けるものとする。また、作業の進捗状況について定期的に報告をすること。

不正アクセス等のサイバー攻撃、サーバの故障や停止等、システムの運用に支障をきたす事態が発生した場合は、速やかに本市へ連絡し、原因究明及び復旧対応を行うこと。また、対応完了後、速やかに書面にて報告すること。

9 対象経費

システム導入にかかる費用はすべて初期設定費用に含むものとし、初期設定費用は導入作業が完了し、運用が開始された後に一括払いとし、受注者から完了報告書を受領し、検査合格後、適正な請求に基づき支払うものとする。

システムの運用・保守に関する費用は、すべて月額利用料に含むものとし、月額利用料は、利用月翌月以降に、適正な請求に基づき支払うものとする。

なお、契約期間中に対象となる病児保育室の増減が生じた場合は、都度契約金額を見直すものとする。

10 納品物

受注者は運用開始までに以下の書類を本市担当課に提出すること。

- (1) 運用管理体制図
- (2) 障害発生時の連絡体制及び対応フロー
- (3) 病児保育室職員・本市職員用操作マニュアル
- (4) 利用者用操作マニュアル

11 秘密の保持及び個人情報の保護

受託者は、業務の内容、データの内容、その他契約履行により知り得た事項を第三者に業務上知り得た秘密を外部に漏らし、又は自己の利益のために利用してはならない。契約期間の終了又は解除後並びに従事者が職務を退いた後においても同様とする。

また、受注者は、利用契約の履行に際しては、以下の関連法令、諸規則を遵守するものとする。

- (1) 個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）

- (2) 個人情報取扱特記事項（別紙）
- (3) 川口市情報セキュリティポリシー（別紙）

なお、受注時に秘密保持契約書（別紙）を締結するものとする。

1.2 契約不適合

- (1) システムに設計ミス、設定不備及びプログラムバグ等の契約内容に適合しない状態（以下「契約不適合」という。）が判明したときは、不適合の修正等の履行の追完をすること。
- (2) 本市は、当該契約不適合により損害を被った場合は、受注者に対して、損害賠償を請求することができる。

1.3 著作権等の取扱い

受注者は、納品した制作物により発注者が広報活動及びシステムの利用者に対し利用方法の説明等を行う場合、事前の連絡なく、又、無償で利用できるよう、著作権法（昭和45年法律第48号）等に規定する著作権者の権利を行使しないこと。また、第三者と発注者との間に著作権法上の紛争が生じないようにすること。当該制作物が、第三者の商標権、著作権その他の諸権利を侵害するものであった場合等で、著作者等と発注者との間に紛争が生じた場合、これによって生じる責任の一切は、受注者が負うこと。

1.4 その他

この仕様書に疑義が生じたとき、または定めのない事項については、発注者と受注者の協議によるものとする。